

第128回

2017. 2. 7

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業311社、回答企業187社、回答率60.1%
調査対象期間	2016年10～12月期の実績、2017年1～3月期および4～6月期の予想
調査時点	2017年1月上旬～下旬

要約

2016年10～12月期の業況判断は改善 2017年1～3月期は悪化、4～6月期もやや悪化する見通し

県内企業（全産業）経営動向調査結果によれば、業況判断BSIについて、2016年7～9月期と比べ10～12月期（前期→当期：△18→8）は大きく改善した。前回調査時の予想（6）と比べると、ほぼ横ばいとなっている。業種別でも、製造業（同：△22→0）、非製造業（同：△16→12）ともに改善している。

先行きについては、2017年1～3月期の業況判断（△9）は、好転を予想する企業の比率が低下していることなどから、悪化する見通しである。また、4～6月期の業況判断（△12）も、やや悪化する見通しである。

10～12月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期よりもやや上昇したが、総投資額は製造業、非製造業とも減少し前年同期比17.1%減の約171億円となった。先行き1～3月期の計画について、実施企業の比率は前年同期と比べ低下し、金額も同44.8%減の見込みとなっている。

今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業がやや悪化した一方、非製造業は改善している。

1. 概況 (全産業)

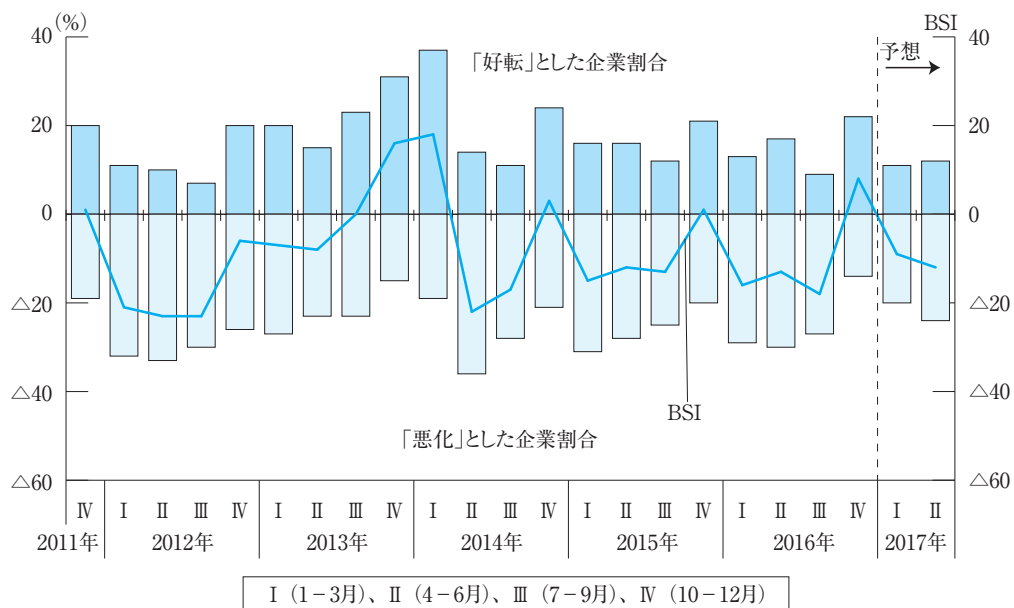
【2016年10～12月期の実績】 業況判断は大きく改善、前回調査時と比べほぼ横ばい

県内企業の当期（2016年10～12月期、以下同じ）の業況判断は、前期と比べ好転とした比率が上昇し、悪化した比率も同程度低下したことから、大きく改善した。

BSI（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値）でみると、前期に比べ、売上げBSIは $\Delta 6 \rightarrow 23$ 、収益BSIは $\Delta 9 \rightarrow 19$ 、業況判断BSIは $\Delta 18 \rightarrow 8$ となった。なお、業況判断BSIは、前回調査時の10～12月期予想（6）と比べほぼ横ばいとなっている。

10～12月期の業況判断BSIを2011年からみると、 $1 \rightarrow \Delta 6 \rightarrow 16 \rightarrow 3 \rightarrow 1 \rightarrow 8$ （今回）となっている。ドル安の是正や株価の安定した推移などが追い風となり、前年同期よりも改善した。

企業経営者による業況判断



— 図の見方 —

- ① アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転（増加）」「不変」「悪化（減少）」の回答を求めており、BSIはこのうち「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を差し引いた値です。
- ② このBSIから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、景気の転換点（景気の山、谷）や「好転感が県内の各企業にどの程度広がっているか」といった「浸透度」をみるのが可能です。
- ③ 前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

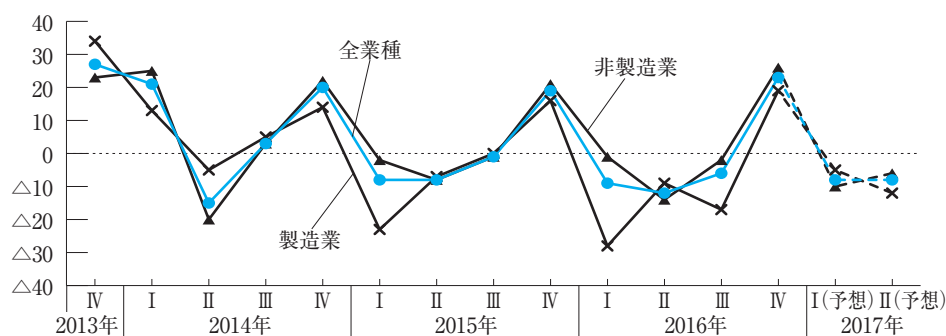
【2017年1～3月期の予想】 業況判断は悪化する見通し

1～3月期の予想は、2016年10～12月期に比べ、全業種の売上げBSI（23→△8）、収益BSI（19→△6）、業況判断BSI（8→△9）はともに悪化の見通しとなっている。もっとも、この業況判断BSIは、前年同期の実績（△16）を上回っている。

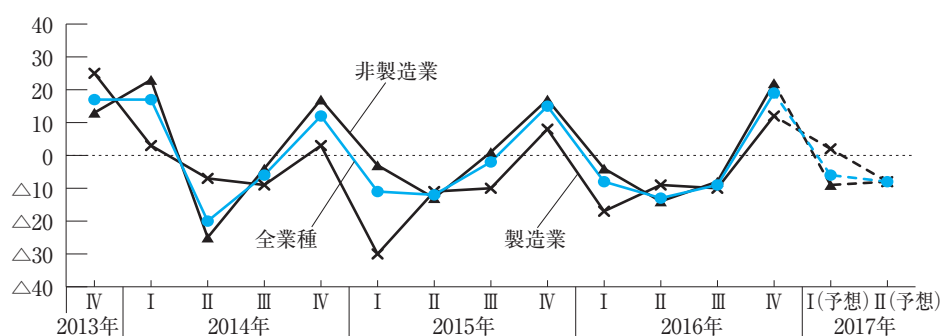
【2017年4～6月期の予想】 業況判断はやや悪化する見通し

4～6月期の予想は、1～3月期に比べ、売上げBSI（△8→△8）は横ばい、収益BSI（△6→△8）、業況判断BSI（△9→△12）はともにやや悪化する見通し。もっとも、この業況判断BSIは前年同期実績（△13）とほぼ横ばいとなっている。

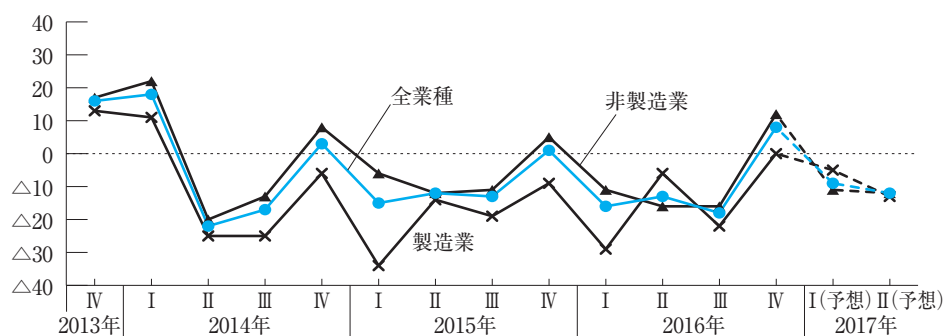
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

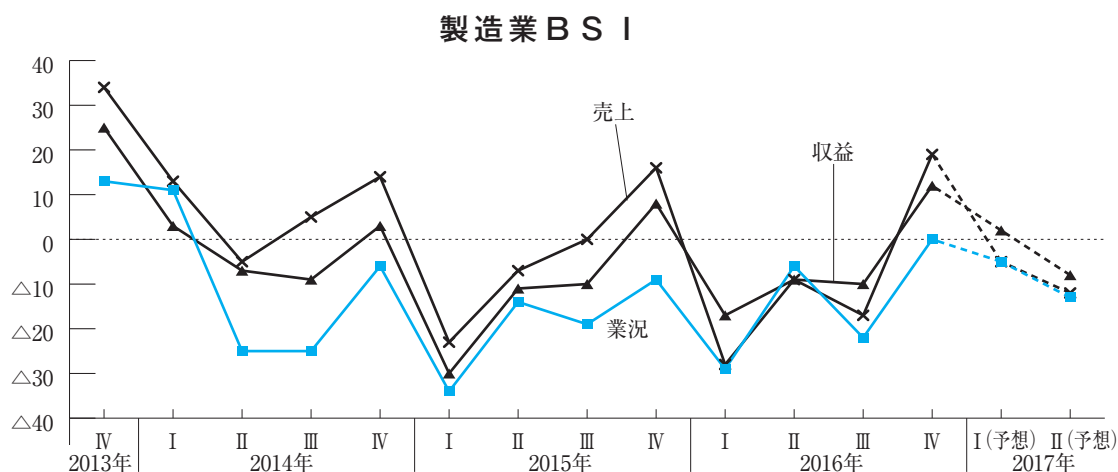
【製造業の現状】 業況判断は改善、前回調査時予想とほぼ横ばい

前期に比べ、売上げB S I ($\Delta 17 \rightarrow 19$ (前回調査時の予想20)) 収益B S I ($\Delta 10 \rightarrow 12$ (同8))、業況判断B S I ($\Delta 22 \rightarrow \pm 0$ (同 $\Delta 1$)) はともに改善した。前年同期と比べても、売上げB S I (16 \rightarrow 19)、収益B S I (8 \rightarrow 12) がやや改善、業況判断B S I ($\Delta 9 \rightarrow \pm 0$) も改善している。

【先 行 き】 業況判断は、1～3月期、4～6月期ともやや悪化する見通し

2017年1～3月期の予想をみると、当期に比べ、売上げB S I (19 \rightarrow $\Delta 5$)、収益B S I (12 \rightarrow 2) は悪化、業況判断B S I ($\pm 0 \rightarrow \Delta 5$) もやや悪化する見通し。もっとも、この業況判断B S Iの予想は、前年同期 ($\Delta 29$) よりも24ポイント上回っている。

4～6月期の予想は、1～3月期予想に比べ、収益B S I (2 \rightarrow $\Delta 8$) は悪化、売上げB S I ($\Delta 5 \rightarrow \Delta 12$)、業況判断B S I ($\Delta 5 \rightarrow \Delta 13$) もともにやや悪化する見通し。また、この業況判断B S Iの予想は前年同期 ($\Delta 6$) を7ポイント下回っている。



3. 非製造業の動向

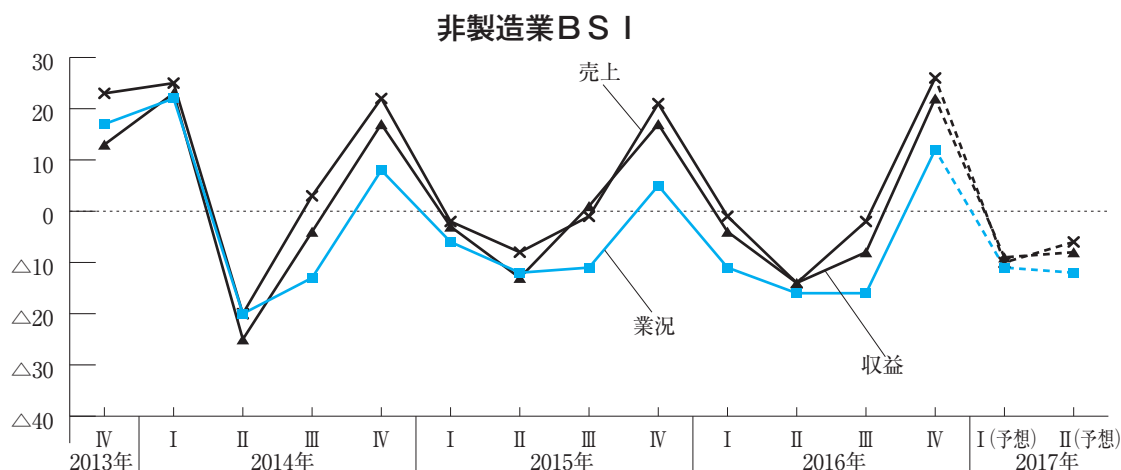
【非製造業の現状】 業況判断は改善、前回調査時予想とほぼ横ばい

前期に比べ、売上げB S I ($\Delta 2 \rightarrow 26$ (前回調査時の予想15))、収益B S I ($\Delta 8 \rightarrow 22$ (同14))、業況判断B S I ($\Delta 16 \rightarrow 12$ (同10)) はともに改善した。前年同期と比べても、売上げB S I (21 \rightarrow 26)、収益B S I (17 \rightarrow 22)、業況判断B S I (5 \rightarrow 12) はともにやや改善している。

【先 行 き】 業況判断は、1～3月期は悪化の一方、4～6月はほぼ横ばいの見通し

2017年1～3月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI（26→△10）、収益BSI（22→△9）、業況判断BSI（12→△11）はともに悪化する見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期（△11）と横ばいとなっている。

4～6月期の予想は、1～3月期予想に比べ、売上げBSI（△10→△6）はやや改善、収益BSI（△9→△8）、業況判断BSI（△11→△12）はともにほぼ横ばいの見通し。また、この業況判断BSIは、前年同期（△11）とほぼ横ばいとなっている。

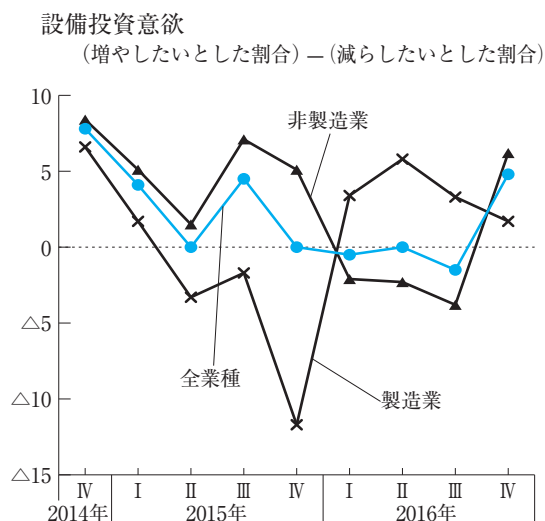


4. 設備投資の動向

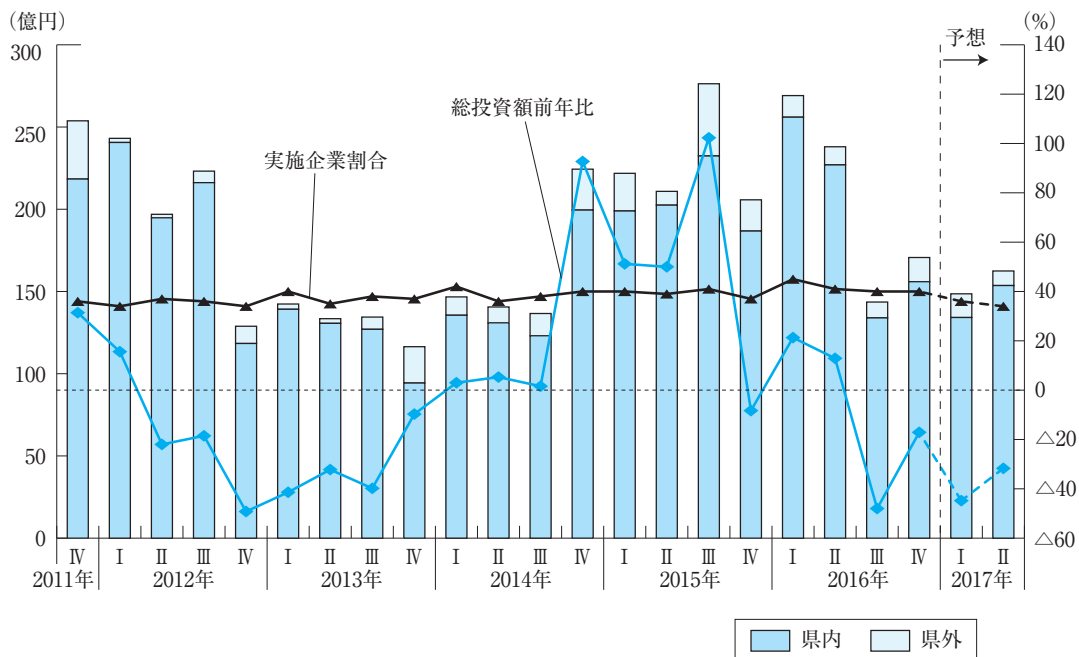
回答企業（全産業）のうち、2016年10～12月期において1百万円以上の設備投資（新規リース契約を含む）を実施した企業は全体の39.6%、総投資額は170億円66百万円（うち、県内投資額は152億20百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業ともに減少したことから、全体でも17.1%減となった（前期比では18.9%増）。一方、実施企業の割合は2.7ポイント上昇している。

先行きの計画をみると、2017年1～3月期の実施企業割合は35.8%で前年同期を下回り、総投資額も約149億円で前年同期比44.8%減となる見込み。また、4～6月期の総投資額は、約162億円で同31.7%減の見込みである。

一方、今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」が18.7%、「減らしたい」が13.9%、「ほぼ変わらない」が67.4%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率（+4.8ポイント）は、前期（△1.5ポイント）と比べ上昇している。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、53.4%で前年同期より8.4ポイント上昇した。一方、総投資額は、146億26百万円（前年同期179億12百万円）で大手の電気機械を中心に前年同期比18.3%減、うち県内投資額は133億26百万円（同166億90百万円）となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」、「既存設備の補修更新」の比率が低下した一方、「合理化・省力化」は上昇している。

先行きの計画については、2017年1～3月期の総投資額は約128億円で前年同期比46.4%減、4～6月期も約142億円で同36.5%減の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、先行き「増やしたい」とする企業割合（20.7%）が「減らしたい」とする企業割合（19.0%）を1.7ポイント上回った。もっとも、この差は2期連続で低下した。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、前年同期と横ばいの33.3%となった。一方、総投資額は24億40百万円（前年同期26億62百万円）で、スーパーなど店舗の新設が目立った前年からの反動により、前年同期比8.3%減となった。県内投資額は18億94百万円（同19億85百万円）となっている。

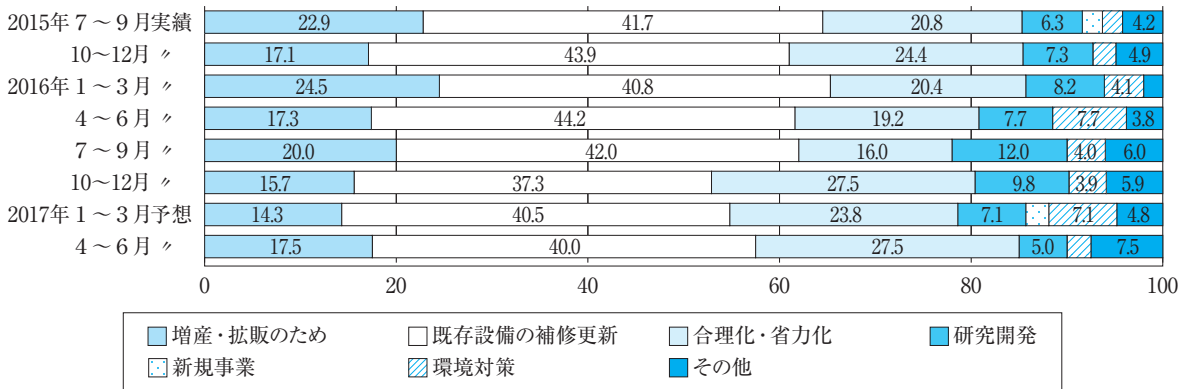
目的別にみると、前期と比べ、「拡販のため」、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」がともに低下し、「その他」が上昇している。

先行きの計画については、2017年1～3月期の総投資額は約20億円で前年同期比31.8%減の一方、4～6月期は約20億円で同47.7%増となる見込みである。

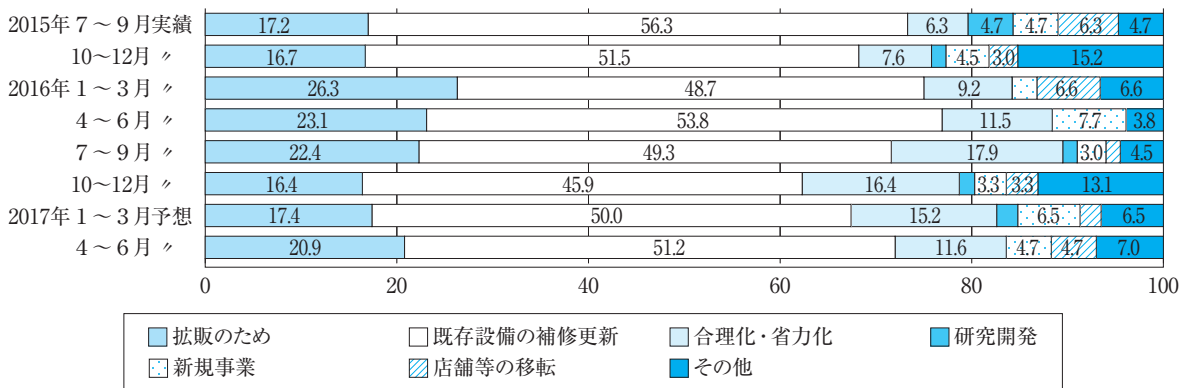
今後1年間の投資意欲は、先行き「増やしたい」とする企業割合（17.8%）が「減らしたい」とする企業割合（11.6%）より6.2ポイント上回り、5期ぶりに上昇した。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	1	1	0
	1～3百万円未満	1	1	0
	3～5百万円未満	4	0	4
	5～10百万円未満	3	0	3
	10～50百万円未満	107	30	77
	50～1億円未満	44	16	28
	1億円以上	27	10	17
	計	187	58	129
従業員数	10人未満	18	6	12
	10～30人未満	39	10	29
	30～50人未満	39	11	28
	50～100人未満	34	5	29
	100～200人未満	29	9	20
	200～300人未満	9	7	2
	300～	19	10	9
計	187	58	129	

		(社)	
業種		回答	
製造業	食料品	5	
	繊維製品	4	
	木材・木製品	11	
	パルプ・紙	2	
	化学工業	7	
	窯業・土石	5	
	機械・金属	17	
	その他	7	
	計	58	
非製造業	建設業	17	
	運送業	15	
	卸売業	34	
	小売業	26	
	サービス業	36	
	その他	1	
計	129		
総数	187		

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2015年 4～6月実績	16	56	28	△12	20	46	34	△14	14	60	26	△12
7～9月々	12	63	25	△13	12	57	31	△19	11	67	22	△11
10～12月々	21	59	20	1	18	55	27	△9	22	61	17	5
2016年 1～3月々	13	58	29	△16	7	57	36	△29	16	57	27	△11
4～6月々	17	53	30	△13	19	56	25	△6	16	52	32	△16
7～9月々	9	64	27	△18	8	62	30	△22	9	66	25	△16
10～12月々	22	64	14	8	19	62	19	0	24	64	12	12
2017年 1～3月予想	11	69	20	△9	9	77	14	△5	12	65	23	△11
4～6月々	12	64	24	△12	9	69	22	△13	13	62	25	△12

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2015年 4～6月実績	29	34	37	△8	31	31	38	△7	28	36	36	△8
7～9月々	27	45	28	△1	32	36	32	0	25	49	26	△1
10～12月々	41	37	22	19	43	30	27	16	41	39	20	21
2016年 1～3月々	28	35	37	△9	19	34	47	△28	32	35	33	△1
4～6月々	27	34	39	△12	29	33	38	△9	26	34	40	△14
7～9月々	26	42	32	△6	20	43	37	△17	28	42	30	△2
10～12月々	43	37	20	23	40	39	21	19	45	36	19	26
2017年 1～3月予想	21	50	29	△8	16	63	21	△5	23	44	33	△10
4～6月々	22	48	30	△8	21	46	33	△12	23	48	29	△6

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2015年 4～6月実績	24	40	36	△12	28	33	39	△11	22	43	35	△13
7～9月々	27	44	29	△2	29	32	39	△10	26	49	25	1
10～12月々	36	43	21	15	35	38	27	8	36	45	19	17
2016年 1～3月々	26	40	34	△8	20	43	37	△17	29	38	33	△4
4～6月々	26	35	39	△13	29	33	38	△9	25	36	39	△14
7～9月々	25	41	34	△9	25	40	35	△10	25	42	33	△8
10～12月々	41	37	22	19	36	40	24	12	43	36	21	22
2017年 1～3月予想	22	50	28	△6	19	64	17	2	24	43	33	△9
4～6月々	21	50	29	△8	21	50	29	△8	21	50	29	△8

(注) B S I = (好転) - (悪化)